

鹿児島工業高等専門学校	開講年度	平成29年度(2017年度)	授業科目	工学実験Ⅱ
-------------	------	----------------	------	-------

### 科目基礎情報

科目番号	0018	科目区分	専門 / 必修
授業形態	実験・実習	単位の種別と単位数	履修単位: 4
開設学科	電子制御工学科	対象学年	4
開設期	通年	週時間数	4
教科書/教材			
担当教員	室屋 光宏,岸田 一也,島名 賢児,吉満 真一,小原 裕也		

### 到達目標

電子制御工学に関する各種の実験を行い、基礎知識をより深く理解するとともに実験の方法、データ処理、報告書の書き方について学習し、的確な把握力と思考力、および解析能力などを養う。また、実験項目に相当する科目的基礎基本のAを到達目標とする。

### ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	実験報告書の要約を簡潔に、分かりやすくまとめて記述することができる。	実験報告書の要約を簡潔にまとめて記述することができる。	実験報告書の要約を簡潔にまとめて記述することができない。
評価項目2	実験内容や結果を図や表などを用いてまとめ、自分なりの分析や考察を含めて実験報告書を作成できる。	実験内容や結果を図や表などを用いてまとめ、実験報告書を作成できる。	実験内容や結果を図や表などを用いてまとめられず、実験報告書を作成できない。
評価項目3		実験報告書を期限内に提出できる。	実験報告書を期限内に提出できない。
評価項目4	実験に対して興味を持ち積極的な姿勢で、安全を意識して実験に取り組むことができる。	実験に対して積極的な姿勢で、安全を意識して実験に取り組むことができる。	実験に対して積極的な姿勢で、安全を意識して実験に取り組むことができない。
評価項目5		チームで行う実験では、チームの構成員とコミュニケーションを取り、自分の役割を理解し、協力して実験に取り組むことができる。	チームで行う実験では、チームの構成員とコミュニケーションを取り、自分の役割を理解し、協力して実験に取り組むことができない。
評価項目6		事前の準備（服装、実験書、電卓、筆記用具等）をしっかりと整えて、実験に取り組むことができる。	事前の準備（服装、実験書、電卓、筆記用具等）を整えて、実験に取り組むことができない。

### 学科の到達目標項目との関係

教育プログラムの科目分類 (4)② JABEE (2012) 基準 1(2)(d)(2) JABEE (2012) 基準 1(2)(i) 本科（準学士課程）の学習・教育到達目標 1-b 教育プログラムの学習・教育到達目標 3-3 本科（準学士課程）の学習・教育到達目標 3-c 教育プログラムの学習・教育到達目標 4-4 本科（準学士課程）の学習・教育到達目標 4-a

### 教育方法等

概要	電子制御工学に関する各種の実験を行い、基礎知識をより深く理解するとともに実験の方法、データ処理、報告書の書き方について学習し、的確な把握力と思考力、および解析能力などを養う。
授業の進め方・方法	1年次から4年次までの機械工作法、工作実習、情報処理、エネルギー工学、電気回路、電磁気学、電子回路、デジタル回路、制御工学、数値制御の知識を必要とする。 基本的に毎回取り組む実験の分野は異なるので、十分予習して実験に臨むこと。
注意点	(1) 実験書、ノート、計算機は毎回準備しておくこと。 (2) 実習服および靴を正しく着用し、開始時間を厳守すること。 (3) 実験は決められた順序、方法で細心の注意を持って行い、特に災害を招かないよう注意する。 (4) 実験はグループごとに行い、任務を分担して協力しあうこと (5) 実験後は報告書を作成し、指定される場所に指定の期限までに提出すること。

### 授業計画

	週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1週	オリエンテーション	実験のスケジュール、注意点を理解し、実験や報告書作製に取り組むことができる。
	2週	1次遅れ、2次遅れ系の周波数特性の測定	遅れ系の周波数特性について説明し、ボード線図を描くことができる。
	3週	直流サーボモータの特性測定	直流モータの原理、電圧-速度・電流特性、誘起電圧について説明できる。
	4週	電力変換回路	チョッパ制御、平均電圧制御について説明できる。
	5週	PLCによる論理回路	与えられた条件下でPLCによる論理回路をラダープログラムで構築できる。
	6週	メカトロ制御（第1週目）	与えられた条件下でPLCによるメカトロ機器制御のためのラダープログラムを構築できる。
	7週	メカトロ制御（第2週目）	与えられた条件下でPLCによるメカトロ機器制御のためのラダープログラムを構築できる。
	8週	レポート指導	実験の取り組み、報告書の書き方などについて確認する。
2ndQ	9週	位置決め制御	オープンループ方式による位置決め制御の原理を説明することができ、プログラムを構築できる。
	10週	輪郭制御（第1週目）	D D A方式による直線補間の原理を説明することができ、プログラムを構築できる。
	11週	輪郭制御（第2週目）	D D A方式による円弧補間の原理を説明することができ、プログラムを構築できる。
	12週	MMCによる数値制御	オープンCNCの制御プログラミングについて説明することができ、プログラムを構築できる。
	13週	C A E 解析（第1週目）	材料力学の曲げ応力やたわみについて説明することができ、C A E を用いた構造解析できる。

		14週	C A E 解析（第2週目）	材料力学の曲げ応力やたわみについて説明することができ、C A E を用いた構造解析できる。
		15週	レポート指導	実験の取り組み、報告書の書き方などについて確認する。
		16週	なし	なし
後期	3rdQ	1週	1.0. PLDを用いた組み合わせ論理回路・順序回路設計（第1週目）	PLDを用いた組み合わせ論理回路および順序回路の設計方法を理解し、設計ができる。また、設計したPLDを使って回路を組み、動作の確認ができる。
		2週	1.0. PLDを用いた組み合わせ論理回路・順序回路設計（第2週目）	PLDを用いた組み合わせ論理回路および順序回路の設計方法を理解し、設計ができる。また、設計したPLDを使って回路を組み、動作の確認ができる。
		3週	1.1. SCR・OPアンプの特性測定	SCRの特性を理解する。また、OPアンプの基本動作およびOPアンプの加算、減算回路を理解し、回路組立ができる。
		4週	1.2. 光センサとトランジスタを用いた電子回路の設計	光センサ、トランジスタの増幅作用を理解し、回路組立ができる。
		5週	1.3. リレーシーケンス制御回路設計（第1週目）	マイクロスイッチ、アナログタイマの特性を理解し、回路組立ができる。また、近接センサ、光電センサの特性を理解し、回路組立ができる。
		6週	1.3. リレーシーケンス制御回路設計（第2週目）	マイクロスイッチ、アナログタイマの特性を理解し、回路組立ができる。また、近接センサ、光電センサの特性を理解し、回路組立ができる。
		7週	レポート指導	実験の取り組み、報告書の書き方などについて確認する。
		8週		
後期	4thQ	9週	1.5. 切削動力計の校正	ひずみゲージ式動力計の原理について説明でき、基本的な校正作業ができる。
		10週	1.6. 旋削および穴あけにおける切削力の測定	旋削および穴あけ加工における、切削抵抗について説明でき、動力計による切削抵抗測定ができる。
		11週	1.7. 2次元切削における切削機構の検討	2次元切削モデルにおける切削力の理論的解析について説明でき、切削抵抗測定と切りくずの観察ができる。
		12週		
		13週		
		14週	レポート指導	実験の取り組み、報告書の書き方などについて確認する。
		15週	電子制御工学実験のまとめ	全般的な実験や報告書の取り組みについて確認する。
		16週	なし	なし

#### 評価割合

	受講態度	実験報告書				その他	合計
総合評価割合	50	50	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	50	50	0	0	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0